

Yokoso! JAPAN, Yokoso! KBS

皆さんはもう愛知県で開催中の「愛・地球博」はご覧になりましたか？ 私は行くチャンスがなかなかなくて、未だ行けずじまいです。

が、「万国博覧会」と聞いて「多言語のKBS」が黙っているわけにはいきません(笑)。

KBSは、1970年の大阪万博でも「韓国館」の案内ポスターを制作したことがあるのですが、今回の万博でも、スポンサー企業であるトヨタパビリオンの外国語パンフレット制作やサイン、公式ホームページ(<http://expo.toyota-g.com/>)翻訳のお手伝いをさせていただきました。非常に厳しい納期での作業でしたが、出色の仕上がりとなっています。

もし愛知万博に行く機会がある方は、ぜひトヨタパビリオンにお立ち寄りいただいて、直接確認してみてください。ただし、人気

ナンバーワンのパビリオンなので、待ち時間はご覚悟の程を…。

ところで、昨年度から国土交通省では、「Yokoso! JAPAN」のかけ声のもと、2010年までに1,000万人の訪日外国人誘致を実現する「ビジット・ジャパン・キャンペーン」を行っています。現在年間500万人ですから、あと5年で倍にするということですね。

当然、外国語の宣伝広報物の案件もこれまで以上に増えてくると思われますので、わが社も「Yokoso! KBS」という気持ちで2010年までに売り上げを倍にしたいと思います…と威勢はいいですが、果たして目標を達成するのは国土交通省が先か、KBSが先か、それとも…。

代表取締役 高 允 男

英語翻訳者 **ブライアン・ラフターさん**

iPodに、自分の人生を!?

人間は大切なものを残すのが好きなので、電子メールをはじめ、写真、ビデオ、音楽など人生の数々の足跡がデジタルデータとして保存される。一生分のメールだって小さなハードディスクにでも入ってしまう時代だ。そこで、受信したメールなどではなく、脳の中の知覚そのものを保存できたらなお面白い。つまり、目・耳・鼻・舌・皮膚の神経から伝わってくる実際の刺激をデータにしてディスクに書き込む。仮にこんなことができたなら、平均75年間にわたる一つの人生分の知覚を保存するのにどのぐらいの容量が必要なのか?

計算してみると考えているほど驚くものではないようだ。想像では、数百台のディスクが必死に動いて脳にやっと追いつくイメージが浮かんでくるのだが、「そんな施設は果たしていくらかかるのだろう」と、計算してみることにした。何億円?何兆円?

実は、心理学者によると、いろいろな実験から脳の意識上の情報処理能力は大体のところ、一秒間に40ビットのデータが処理できるそうだ。そういった情報をディスクなどの媒体に書き込むことができれば、その人の一生分の経験を保存できることになる。全ての聞いた音、見たもの、味わった味、触ったもの、嗅いだ匂いの記録になる。

この1秒間40ビットのデータを75年間蓄積すると約12ギガバイトになる。つまり、近所の電気屋で売っているディスクに保存すれば、2,000円分以下の容量に全て収まる。そうすると、自分の一生分の経験をiPodに入れて簡単に持ち歩ける。好きな音楽のように。

先ほど説明した通り、これはあくまでも意識上の知覚だけだ。脳は無意識に処理する情報の方は遥かに大きいから、この意識上の経験はまさに冰山の一角だ。私はこの文書を書いている今だって何億といった皮膚の神経が刺激を発生している。幸いなことにこれらの刺激を無視してタイピングに集中できる。けれども、今無視すると後で思い出せなくなるからやっぱりこれも保存したくなる。そうすると今度は、無意識の知覚も含めてどのぐらいの容量が必要になるのか計算してみたくなった。

iPodにとっても入りきれないと言っているだろう。意識するのはわずか1秒間40ビットに対して、実際に脳に伝わってくる刺激は1秒間約11,000,000ビットにも及ぶ。75年間分を保存するなら、3,252,150

ギガバイトが必要になる。言い換えれば16万個のiPod。つまり、4時間ごとに1つの20ギガバイトのiPodがいっぱいになる。

よく考えてみたら、これらの刺激が運ぶ思い出のなかに忘れた経験もあるから編集の機能も必要だ。飲み会を残して、翌日の二日酔いを削除。人生もそんな編集ができればいいのにな.....。

My Life... on an iPod!?

Brian Rafter

Emails, pictures, movies, songs: today it seems that much of what we do ends up stored as digital data. People like keeping copies of the things that are important to them, and it's easy enough to store an entire life's worth of email on a small hard drive. But imagine if you could store your experiences themselves — your perceptions of the world, consisting of the actual electronic impulses (data!) originating in the nerves of your eyes, ears, nose, tongue, and skin. Assuming you will live to be 75, how much disk space would it take to store an entire lifetime of conscious experience?

Not all that much, as it turns out. My first impression was of rack upon rack of high-capacity hard drives whirring and buzzing in a frantic effort to keep up with the frenetic pace at which our brains process information. So I did some calculations to figure out how much all that disk space would cost. Millions? Billions?

Based on experimental evidence, psychologists know with some confidence that our brains can consciously process at most 40 bits of sensory information per second. If this information

flow could be stored over the course of an individual's lifetime, you would have captured the total sensory input consciously experienced by that individual — everything he or she saw, heard, tasted, smelled, and felt.

After 75 years, 40 bits per second adds up to about 12 gigabytes, which at today's prices would cost less than \$20 to store. I could carry around my entire life's experiences — or yours — on my iPod. Instead of trading songs we could trade lives.

Recall that this figure is for conscious sensory input. Of course, that's just the tip of the iceberg, because our brains process a lot more information than we ever bother to pay attention to. Billions of nerves in my skin are firing away as I write this, but I am able to ignore them, luckily, and concentrate on typing. But perhaps I'd like to store these perceptions as well so that I can review them later at my leisure. How much space would be required to store all the data from all five senses, both conscious and unconscious?

Let's just say it's not going to fit on an iPod anytime soon. Although we only consciously experience 40 bits per second, our minds actually process around 11 million bits each and every second. After 75 years, that adds up to over 3.25



プロの翻訳家を 目指して

翻訳部 韓国語担当 **シンヘチョン 申 恵 程**

この4月にKBSに入社した翻訳部の申恵程です。韓国で大学卒業後、社長の秘書として働いていましたが、同じ会社の日本支社で働いていた今の夫と恋に落ち、何もかも捨てて日本にきて来ました。(笑)

それから早くも3年が立ちました。振り返ってみると慣れない日本生活と難しい日本語を乗り越え、大阪大学大学院に入り、KBSの入社に至るまで自分なりに精一杯頑張ってきたような気がします。

現在、大学院では国際公共政策研究科で労働経済学に関して勉強していますが、韓国の大学での専攻は英語でした。幼いころから外国語が好きで翻訳は昔からしてみたいなと思っていた仕事でした。でも、なかなかその機会がなく翻訳の仕事とは縁が遠かったのです。実績も経験もない素人にはその業界の壁が高かったでしょう。

まだ大学院を卒業していないので(来年3月



卒業予定です)今は学校に通いながらKBSで翻訳の仕事覚えさせていただいています。やっとその仕事に巡り合えた今は、毎日楽しんで翻訳をしています。

これからKBSでプロの翻訳家を目指して頑張りたいと思っていますので皆さんどうぞ宜しくお願いします。

■ ■ ■ ■ ■
이번 4월에 KBS에 입사한 번역부의 신혜정입니다. 한국에서 대학졸업 후, 사장 비서로 근무하고 있었는데 같은 회사의 일본지사에서도 근무하고 있는 지금의 신랑과 만나 운명적인 사랑에 빠져 모든걸 버리고 낯선 일본땅에 오게 되었습니다. (웃음)

그렇게 일본에 온지 벌써 3년이 지났습니다. 익숙하지 않았던 일본생활과 어려운 일본어를 극복해 가며 오사카대학 대학원에 진학해 KBS에 입사하기까지 최선을 다해 온 결과가 지금이 아닌가 싶습니다.

현재 대학원에서는 국제공공정책연구과에서 노동경제학에 대해 공부하고 있습니다만, 대학에서의 전



공은 노동경제학과는 거리가 먼 영문학이었습니다. 어릴적부터 외국어를 좋아해 언젠가 기회가 된다면 번역일을 한번 해보고 싶다고 생각을 했었습니다만 경력과 실적 없이는 좀처럼 기회가 주어지지 않는 게 번역업계라 인연이 닿질 않았습니다.

아직 대학원생(내년 3월 졸업 예정)이라 대학원을 다니면서 KBS에서 번역 일을 익히고 있습니다만 하고 싶었던 번역 일을 할 수 있게 된 요즘 하루 하루 즐거운 마음으로 번역일을 하고 있습니다.

앞으로 KBS에서 프로 번역가가 될 수 있도록 열심히 실력을 쌓아가고자 합니다. 그럼 잘 부탁 드리겠습니다.

世界と乾杯! —青島国際ビール祭—

青島(チンダオ)は、中国北部に位置する美しい海浜都市です。豊かで素晴らしい自然と魅力的な町並みは、国内外からの観光客を迎えています。

毎年8月に、青島で盛大なイベント「青島国際ビール祭」が行われます。今年の第15回ビール祭が近づくにつれ、青島の空気にはビールの香りが漂いあふれ、酔い心地の中で祭の雰囲気を感じられます。

「青島国際ビール祭」は、1991年から毎年、青島のゴールデンシーズン8月の第2週末から開催され、16日間続きます。この祭は、国の主管部門と青島市により共同主催されるもので、観光・文化・体育・経済貿易を一体に融合した国家レベルの一大イベントです。現在では、美しい海浜都市・青島を輝かす「都市の名刺」として、認知度と影響力が世界に広がっています。

アジアの「国際ビール都会」を誇る「青島国際ビール城」。青島の石老人国家観光リゾート地にあり、「青島国際ビール祭」の主会場です。敷地は、35ヘクタールもあり、南エリアと北エリアに分けられ、南エリアが総合娯楽区、北エリアが総合商業区となっています。

ビール祭は、開幕式、ビール試食、文芸の夕べ、芸術巡演、文体・娯楽、飲酒コンクール、観光・見物、商業展示会、閉幕式大会などの催しにより構成されます。祭の期間中、青島市はあちろちろ一斉に飾られ、市を挙げてお祭り騒ぎをします。祭の主会場として、世界でも先進的な娯楽施設が多数ある「青島国際ビール城」の中で、ビールの香りが漂いあふれ、文字通り最高潮に賑やかな雰囲気が味わえます。世界各国のビールメーカー20社以上と国内外からの観光客数百万人がここに集まり、海の香りの中で、美酒美食を味わいながら、綺麗な花火を楽しんで、連日連夜遅くまで賑わいます。

今年は8月13日～28日に、「第15回青島国際ビール祭」が予定通りに開催されます。是非、青島へおこしく下さい。世界と乾杯しましょう!



国際ビール祭でわきかえる青島

与世界干杯! —青島国際啤酒节— 林耀国

青島是中国北方的一个美丽的海滨城市。这里秀丽的自然风光和迷人的都市风貌吸引着众多的国内外游客前来。

毎年8月、青島都要举办一次盛大的节日——青島国際啤酒节。随着今年第15届啤酒节的临近，青島的空气中仿佛已经弥漫着令人陶醉的啤酒香气，让人对节日的到来充满期待。

青島国際啤酒节始創于1991年，每年在青島的黄金旅游季节8月的第二个周末开幕，为期16天。节日由国家有关部委和青島市政府共同主办，是融旅游、文化、体育、经贸于一体的国家级大型节庆活动。如今，青島国際啤酒节已逐渐成为青島这座美丽的海滨城市的一张亮丽的城市名片，在国内外具有了相当的知名度和影响力。

青島国際啤酒节的主会场在亚洲最大的国际啤酒都会——青島国際啤酒城，坐落在石老人国家旅游度假区，占地35公顷，分南、北两大功能区。南区为综合娱乐区，北区为综合商贸区。

节日由开幕式、啤酒品饮、文艺晚会、艺术巡游、文体娱乐、饮酒大赛、旅游休闲、经贸展览、闭幕式晚会等组成。节日期间，青島的大街小巷装点一新，举城狂欢；在节日的主会场——拥有众多世界先进大型娱乐设施的青島国際啤酒城里更是酒香四溢、激情荡漾。来自世界各地的20多家世界知名啤酒厂商和数百万海内外游客相聚在这里，沐浴着海洋的气息、品尝着美酒美食、欣赏着灿烂焰火，每天到深夜都热闹非凡。

今年的8月13日～8月28日期间，第15届青島国際啤酒节将如期举办，让我们相聚青島，与世界干杯!

million gigabytes, or a bit over 160,000 iPods — one 20 GB iPod every 4 hours!
The more I think about the prospect of storing everything I experience, the more I realize that we're going to need some kind of editing function. I don't necessarily want to remember all of those perceptions. Sure, keep the beer, but

by all means let's delete the next morning's hangover. If only you could edit life that way, too...
* Estimates of the bandwidth of conscious thought are from The User Illusion by Danish writer Tor Norretranders.

ある晩、電話のベルが鳴る。「誰やろ…」と
思いながら、受話器を取って「はい」とだけ答
える。かかってきた相手は友達からだったの
だが、その友達が、「なんや、トラちゃん愛想悪
いなぁ」と言う。「そうか、そんなことないで」と
言ったが、どうやら最初の印象が無愛想に感じ
たらしい。会社の電話だったりすると「はい、
〇〇です」と、名前を名乗るのは当然だが、私
はもう何年も前から、家の電話をとるときは名
前を名乗らない。以前、わけの解らない勧誘の
電話が多かったからだ。相手はこちらの名前も
住所も年齢も全部知っている。丁寧に断ったつ
もりでも、嫌味なことを言われて電話を切られ
る。何度、不快な思いをしたことか…。

最近、家の電気製品を買い替えたとき、取扱
説明書や保証書の他に「個人情報の取扱いにつ
いて」という印刷物が一枚付いていた。『保証書に
ご記入いただいたお客様の個人情報に関しまして
は、次の通り取り扱わせていただきます。お客様
にご記入いただいた住所、氏名などの……』と続
くのだが、今施行されている「個人情報保護法」
に基づいているんだなと思いながら、この紙切れ
一枚が逆に不安にさせるような気もした。いくら
法律ができて施行されても、携わる人がどれだけ
それを認識して注意するかが大事である。

5月からまた戻りのような形でKBSにお世
話になることになりました横澤です。よろしく

身近なニュース? 「個人情報保護法」

制作部 Web担当 横澤 寅男

お願い致します。そして時を同じくして一台の
シュレッターが会社に
届いた。「おっ、なかな
かやるなぁ」と内思
いながら、私の仕事の
中心であるネットはど
うだろう。

6月に米国でクレジッ
トカードのマスターや
ビザなど、計約4000
万枚分の個人情報が出た可能性があると
した問題や、ネット専門銀行のイーバンク銀行で、
顧客がスパイウェアにより不正振り込みの被害
に遭ったことなどがニュース記事に載っていた。

もうこうなると、何が便利で、何が不便なの
か区別がつきにくくなってしまふ。先日ある人
に頼まれてビデオテープを購入した。日本では
入手できないので、ネットで探してアメリカか
ら取り寄せてもらったのだが、家のパソコンか
らメールで確認して、そのままパソコンから銀
行振込。実に簡単に海外の商品を手に入れるこ



とができる。顔も知らないし聞いたこともない
代理店の人を信用した訳だが、それはメールの
対応の仕方や反応を見て判断するしかないだろ
う。商品はちゃんと届いたのだから、後は自分
の情報が外に漏れないか心配なだけだ。(笑)

情報といえば個人だけではない。会社には
もっと大事な情報があったりして、『米企業の約
3分の1が社員の送信する電子メールを監視し
ており、約4分の1が、過去1年間にメールを不
正使用した社員を解雇していたことが、米企業
に対する調査で分かった。電子メールは他人に
分からず送信できるため、重要な情報の漏えい
につながるとして、米企業がメール監視を本格
化していることが浮き彫りになった。調査を
実施したのはメールのセキュリティー関連会社
ブルーポイント。調査によると、1000人以上
の企業の36.1%が、社員の送信メール監視の
ために担当者を雇用し、35.2%が1年以内にメ
ールによる機密情報漏えいの疑いで調査を実施。
従業員2万人以上の大企業では40%がメール
監視していた。』これはニュース記事からの引用
だが、日本の企業だって社内メールはほとんど
監視対象ってことらしい。

さて、KBSのホームページですが、お客様か
らのフォーム送信を暗号化することにしました。
ただ、それで安心ですという訳でなく、それ
を取り扱う私たちのモラルが一番大切なのです。



今回私(左)と一緒に益山に行った小学校時代の同級生

中央国民学校の9期生なんだ。

名簿の中に同じクラスで一緒に遊んだ事のある金ヒョンウォンさんがいた。早速電話をすると、彼も私を覚えていた。しかし、残念ながら遠いところに住んでいたため、会うことはできなかった。

● 裡里(益山)へ行く

張さんと李さん、そして私の3人は裡里の小学校へ行ってみることにした。

裡里市は、いま市の名前が変わって、益山市となっている。6月30日に、3人はバスに乗り、全羅北道の益山へ向かった。午前10時発の高速バスだ。韓国的高速バスは快適だ。座席はゆったりだし、しかもこの日



益山で食べた石焼きピビンバ。すごくおいしい

乗客は10人そこそこだったので、なおさら広く座席を取ることができた。

益山まで約3時間、ノンストップだ。ただ途中トイレ休憩のため、サービスエリアで1回停まった。約20分の停車の間に、食事をとったりする乗客もいた。

益山に着いたのは午後1時頃だ。まずは昼食をとることにした。この全羅道地方は韓国でも食べ物がおいしいと有名なところだ。

石焼きピビンバを食べることし、石焼きピビンバ専門店へ入った。普通の6,000ウォンで、高麗人参入りが7,000ウォンだ。私たちは高麗人参入りを頼んだ。日本円で約700円である。

韓国の食堂はどこでもだが、ピビンバひとつ頼んでも、キムチや野菜のあえもの、韓国式茶碗蒸しなど、食卓せましといっぱい並べられる。これらがすべてサービスで付いてくる。しかもキムチがとてもおいしかった。お代わり自由だ。

やがて、ピビンバが出た。とてもおいしい。中には人参の他に栗やナツメ、松の実などいろいろ入っている。ソウル住まいの張さん、李さんも、「こんなおいしいもの、ソウルでは食べられない」と、きれいに平らげた。

食事を済ました3人は、小学校へ向かった。私たちが通っていた裡里中央国民学校だ。歩いて行きながら、私が住んでいたところや張さんが住んでいた場所、張さんと遊んでいたところを過ぎながら懐かしんだ。

私は昨年に訪れているが、ふたりは久しぶりだ。李さんは40年ぶりだという。

「この道、もっと広い道だったけどな」と、小

さいときの記憶をたどっている。確かに小さいときに見たものはすべてが大きく見える。

裡里中央国民学校に着いた。ここへ来た目的は私がこの学校に通っていた事の証を見つけることだ。

行政課というところへ訪ねた。ここは、卒業生の名簿などを管理するところのようだ。

私達の名簿を見せてくれるように頼むと、女

韓国の新幹線KTXのきっぷ売り場。窓口はたいいてい女性だ



最近の

www.inbong.com/2005/seoul050630/

会長 高 仁 鳳

性職員は保管庫を調べてくれた。

卒業台帳が出てきた。そこには卒業をした、張さんも李さんも載っているが、卒業をしていない私の名前はなかった。学年ごとの記録、学年記録は12期以降のものしかなかった。それ以前のものは、むかし火事があったことがあり、記録は燃えてしまったという。



記録は燃えてしまったという。

何となく寂しい感じた。それと、どうも学校の古い記録を大



卒業台帳を調べてもらったが、やはり私の名前はなかった

事に管理していないように私には思えた。

それと、卒業生が50年ぶりに遠くから訪ねて来たにもかかわらず、学校側の対応がもうひとつのようだ。これはさびしい。

ソウルへ戻るのは韓国の新幹線KTXに乗ることにした。KTXには開通した昨年に乗ったが、あまりいい感じではなかった。



韓国的高速バスはゆったりとして快適だ

● 同級生と会う

ニューヨークから電話がかかってきた。小学校時代の同級生、張チョルンからだ。

「今度、韓国へ帰るけど、会わないか」

「会いたいな。久しぶりだし。予定を組んでみるよ」といって、電話を切った。

張さんとは、小学校の同級生だ。といっても、同じ教室と一緒に学んだわけではない。

韓国の小学校、あのときは、国民学校といていた。私は終戦後、韓国へ帰国し、全羅北道の裡里で、小学校へ入学した。学校名は「裡里中央国民学校」だ。この国民学校で3年の時、朝鮮戦争が起きて、学校を中退した。

張さんは、5年の時に私が通っていたクラスに転校して来たのだった。私は家庭の事情で、学校を中退はしたのだが、同じクラスの子供達と遊んでいた。そこに転校してきた張さんも加わって遊ぶようになった。それから彼と親しくなり、そのつきあいは約50年後の現在まで続いている。

私は韓国へ行くことにした。翻訳関係の事を調べることもあり、張さんに会って、裡里国民学校のことを、もっと聞きたかったからだ。

6月28日から7月3日までの4泊5日の旅だ。4泊とも張さんの家に世話になった。

李ヒジュンさんを紹介してもらった。李さんも同じ小学校の同じクラスの人だ。この人は4年のとき転校して来たという。だから、この李さんも学校では会ったことがない。

李さんは、現在ソウル在住の同窓会会長をしている。ソウルに裡里中央国民学校の同窓生会員が約50人いるという。名簿を見せてもらった。表紙には第9期と書かれている。私は裡里中



それが立派な日刊紙だ。それは日本の夕刊フジのようなかたちで、ちゃんとした新聞記者が書いた取材記事が載っている。こんな無料新聞が、私が見たところ、5〜6紙はあった。

電車の中では、みなさんこの無料の新聞を見ている。有料の新聞を見ている人はほとんど見あたらなかった。

それからバスに乗るにも、地下鉄に乗るのも多くの人が切符を買っていない。

定期券のようなものを財布にいれたまま、改札口に当てると、ピッと通って通れるようになる。あとで、張さんに聞いたら、それは定期券ではなく、クレジットカードだった。

①



公園には花がたくさん咲いている

公園にはきれいな花もたくさん咲いていた。裸足で歩く道もあった。小石の上を歩いたり、砂の上、いろいろな上を歩く。これをきっちり歩くだけでも結構時間がかかる。

韓国伝統庭園もあった。庭は日本庭園とよく似ているが、建物などがすこし違う。時間があればもっとよく写真を撮ればよかったと思う。

公園へ行くとき小学校と中学校の前を通ったが、日本のようにガードが厳しくなく開放的だった。塀もかたちだけで、自由に出入りができる。



こうしてみると、韓国の人達は日本よりも、生活を楽んでいるようだ。この公園もそうだが、なにが日本はせかせかと忙しく働いているのに比べて、韓国はゆとりがあるように感じられた。

住まいを見ても、韓国の方が広々として快適だ。部屋はオンドル(床暖房)になっていて、ス



登校風景。横断歩道ではお母さんたちが交通整理をしている

トープなどない。それは湯で床を温めているのだが、その湯はゴミを燃やして温めた湯を各家庭に送ってくれているという。部屋の温度は、壁にあるスイッチで調節できる。張さんの家は一戸建てで自由に設計できるといえるが、昨年泊まった甥の家はマンションであった。甥は韓国の平均的なサラリーマンである。彼のところもそうであった。また、彼の居間は私の家の3倍から4倍の広さがある。これは官庁などの政府機関が一般住民のことをよく考えているということなのかな。

これらの発展ぶりはあつという間でスピードが早い。今やインターネットで一般の国民が政府や言論機関を動かしたりする。ホント早い民主主義を韓国国民は勝ち取ったものだ。

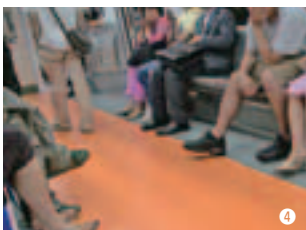
私は7月3日日本に戻った。張さんも7月20日頃、ニューヨークへ帰るといふ。彼の場合行くと言った方がいいかな。ソウルに立派な家があり基盤ができていっているのだから。



②



③



④



①朝の地下鉄。皆さん無料の新聞を読んでいる ②無料新聞は地下の入口にこのように置かれている ③電車の中で聖書を読んでいる女性を見かけた ④色で区別される。オレンジ色は地下鉄3号線だ

① 公園での話

張さんの家の近くに大きな公園がある。真ん中に大きな湖があるので「ホス(湖水)公園」という。その公園へ2度、散歩しに行った。一度は張さんと夕食を済まして夜に行ったのと、朝にひとりでいった。公園はとても広い。大阪城公園はこの公園に比べれば、小さい小さい。しかもジョギングやサイクリングの道など、設備も整っている。

公園内の道は4車線だ。人がとおるのだから車線と言うのは変だが、とにかく4つに別れていて、人は左側通行で行きと来で2つ。自転車は



公園のジョギング道。グリーンは人、赤が自転車だ

右側通行でこれも2つだ。自転車はぶつかれば危険だから、2車線があるのはわかるのだが、人も分けてあるということは、それだけ散歩をする人が多いという事だろうか。そのような人の多い場面も見なかった。



ひとりで公園へ朝の散歩に行った。

2時間ほど歩いたが、半分ぐらいしか歩けなかった。これならレンタル自転車を借りて公園を見回ればよかったと思う。

① 地下鉄での話

ソウルでの移動はたいいて地下鉄だ。バスのときもあったが、それは張さんと一緒に移動のとき、1〜2度乗っただけだ。ひとりで移動するときは、バスの場合、バス乗り場が慣れないとわかりにくい。その点、地下鉄はわかりやすい。しかも色分けしているので、本当に便利だ。

もちろん、バスもソウル市では昨年から車体を色分けしている。本当にわかりやすい。それと何よりも韓国の交通機関は値段が安い。地下鉄の場合、1区間で600ウォン(約60円)だ。



朝の出勤の時間に地下鉄に乗った。地下鉄乗り場への入口には、無料の新聞が置かれてある。いわゆるフリーペーパーだ。

はじめは、どうせ広告ばかりの宣伝紙だろうと見向きもしなかったが、なんのとんでもない。



健康小知识

健康豆知識

翻訳部 郝 晓 雯



健康に良い五つの姿勢

一、服薬の最善の姿勢——立つ

座ったまま或いは横になった状態で薬を飲むと、薬が食道の壁に付き易いため、薬が最適な吸収部位に届かないだけでなく、食道の壁に有害な刺激を与えます。立った場合には食道が垂直な状態になり、薬が胃内部へ流れるのを助けるため、治療効果を十分に発揮することができます。

二、睡眠の最善の姿勢——右向き

右向きの寝姿勢は肝臓への血の流れを良くし、また、肺と心臓に対する圧迫も減少し、血液循環を促します。

三、思考の最善の姿勢——仰向け

仰向けになると筋肉と神経が最もリラックスし、情緒も穏やかになり、気持ちも

ゆったりとするため、脳細胞が思考に最適な状態にとっても調整され易くなります。

四、歩行の最善の姿勢——小走りに歩く

小走り歩行は筋肉の活動回数を増し、脚の筋肉を丈夫に発達させ、さらに脚の血液循環も増すことができるので、「脚から老いる」のを予防します。

五、乗車の最善の姿勢——身体を20～30度前に傾けます。

こうすることで首や脚の疲労を、防止したり軽減できます。

五个有利于健康的姿势

一、服药的最佳姿势——站立

坐着或躺着服药，药物容易粘附于食道壁上，这不仅使药物不能达到最佳的吸收部位，而且粘附对食道壁是一种有害刺

激。站立时食道呈垂直状态，有利于药物下行到胃里，充分发挥其疗效。

二、睡眠的最佳姿势——右侧卧位

右侧卧位有利于血液回流入肝脏，减轻肺和纵隔对心脏的压迫，有利于血液的流动。

三、思维的最佳姿势——平卧

平卧时人体肌肉和神经最为放松，情绪最稳定，心搏最为缓慢，因此脑细胞极易调整至最佳的思维状态。

四、行走的最佳姿势——小快步

小快步行走可以增加肌肉活动次数，使腿部肌肉强健发达，还可以增加腿部血液循环，预防“腿先老”。

五、骑车的最佳姿势——身体前倾20～30度。

这样可预防和减轻颈部和下肢的疲劳。



한일 우정의 해 2005

제작부 정석원

2003년 6월 노무현 대통령은 일본 국민방문. 한·일 정상회담시 한·일 수교 40주년인 2005년을 “한·일 우정의해 2005”로 정하기로 하고, 이에 따라 2005년 한 해 동안 한일 양국은 “나가자 미래로, 다같이 세계로” (Together! Toward the Future, Into the World)의 기치 아래 문화, 예술, 학술, 스포츠 등 다양한 분야에서 각종 행사를 공동으로 기획, 추진하여 양국간 상호 이해와 교류를 증진시키기로 하였습니다.

요즘 한·일관계는 특히 문화 교류 분야에서 상호 이해가 깊어지고 있는 가운데, 한국 대중문화가 일본에서 인기가 높고, 일본의 패션이나 애니메이션, 영화 등에 관심을 갖고 있는 한국의 20~30대 중반 사이에서는 일본에 대한 친근감이 상승하고 있습니다. 그 배경에는 여러가지 이유가 있다고 생각하지만, 지금까지 양국이 노력한 결과라고 생각하며, 이러한 흐름을 지속해서 유지하는것도 이번의 행사의 가장 큰 목적이기도 하였습니다.

구체적인 행사로써는 가부키 공연, 가요대회, 일본의 축제인 마쓰리공연을 비롯, 한국 일주 우정의 걷기 행사, 한일청년심포

지엄, 한일 농구리그전, 초등학교 홈스테이 교류, 예술 공연단 상호 방문 등 정부 및 민간차원의 다양한 행사가 마련돼 있습니다. 이러한 행사를 통하여 상대국 공연을 초청 관람하는 차원을 넘어, 오페라나 영화를 공동 제작하는 행사가 늘어나고 있으며 지리적으로 가깝다는 이점 때문에 지방과 시민차원의 참여가 높아지고 있다는 것도 이번 행사의 가장 큰 특징이 되겠습니다.

홈페이지(한국)www.friendship2005.net



日韓友情年2005

制作部 鄭 哲源

2003年6月、ノムヒョン大統領は日本へ国賓として訪問した。日・韓首脳会談時、日韓国交正常化40周年である2005年を“日韓友情年 2005”と決め、これによって日韓両国は“進もう未来へ、一緒に世界へ (Together! Toward the Future,

Into the World)”と銘打って文化・芸術・学術・スポーツなど多様な分野で各種行事を共同で企画、推進して両国間相互理解と交流を増進させる事を決めた。

近年、日・韓関係は特に文化交流分野で相互理解が深くなっているが、韓国の大衆文化も日本で人気があり、また日本のファッションやアニメーション、映画などに関心を持っている韓国の20~30代の若者の間では、日本に対する親近感が強まっている。その背景には様々な理由があると思うが、今まで両国が努力した結果と考え、このような流れを長く維持させることも今回の行事の目的でもあると感じる。

具体的な行事は歌舞伎公演・歌謡大会・日本の祭りなどを始め、韓国一周友情のハイキング、日韓青年シンポジウム、韓日バスケットリーグ戦、小学生ホームステイ交流、芸術公演団相互訪問など政府だけでなく民間でも多様な行事が用意されている。それぞれの公演を招請観覧するだけではなく、オペラや映画を共同製作するイベントが増え、地理的にも近いという利点があるため、地方と市民レベルの参加が多くなっているということも今回の行事の最大の特徴になるだろう。

ホームページ(日本)http://www.jkcf.or.jp/friendship2005/japanese/

花火&焼肉大会



KBS恒例の、花火・焼肉大会が7月30日(土)淀川河川敷で行われました。当日は晴天に恵まれ、心地よい風が吹いていました。今回はKBS社員の他、大人9人、子供9人の参加をえて近年では一番多い人数になり、とっぴりと日の暮れるまで大いに盛りあげました。

制作部 稲木 隆文



女性陣は野菜等を切り、男性陣は火をおこします。



キムチ・チヂミなど
KBSならではの料理が並びます。



花火が綺麗です。



お肉が焼けるまで野球をして遊びました。



幹事さんの音頭でカンパ〜イ!



ビールと焼肉最高☆



最後はみんなで記念撮影

子供たちが力を合わせてスイカを割りました。

楽しい韓国語講座

第3回 「よく」

KBSまだん韓国語講座講師

益田 治

今回は韓国語の中でもよく使われる「よく」についてです。「よく〜する」と言う場合の「よく」は、韓国語ではその意味に応じて「잘」「많이」「자주」などを使い分けます。

「よく」と聞いてまず初めに思い浮かぶ単語はこの「잘」でしょう。韓国語で「よく」と言おうとしたら、ほとんど「잘」を使ってしまうのではないのでしょうか。でもこの「잘」は万能ではありません。主に「うまく」「上手に」「十分に」などの意味で使います。

「잘 잤어요. よく寝ました」「잘 생겼다. よく生まれた=ハンサムだ(女性には使わない)」「잘 살아요. よく暮らしている=いい生活をしている」「잘 생각해 보세요. よく考えてみてください」「노래를 잘 한다. 歌をよく歌う=歌がうまい」などのように使います。

ちなみに日本語にあまり慣れていない韓国語話者が「그 사람은 공부 잘 한다」を「あの人は勉強がうまい」というのを時々耳にすることがありますが、この感覚で使っているのでしょうか。じゃあどう言えばいいでしょう? 「よくできる」ですね。

ほかに、「잘 가세요. よく行って(帰って)下さい=気をつけて行って(帰って)下さい」「잘 있어. よく居てね=元気でね」などはそのまま日本語には訳しにくい例ですが、意味は理解して頂けると幸いです。

また、借りた本を返すときに「잘 읽었습니다. (よく読みました)」などと言うことがありますが、人に物を借りて返すときに、ありがとうに代えて「잘」を使って言うこともあります。単に「고맙습니다」と言うよりも、「잘 썼습니다. (よく使いました)」などと言ったほうが、より返礼の意味がはっきりします。映画「ラブストーリー(原題:クラシック)」ではソン・イェジンのピアノ演奏を聞いたチョ・スンウが「잘 들었어요. (よく聴きました)」と言っていました。字幕では「とても

よかったよ」と訳されていました。

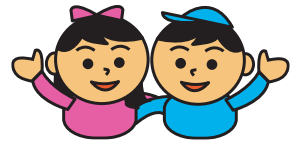
このほかに未了形の文で使って、これからちゃんとしますというような意思を表すこともあります。

「잘 쓰겠습니다. よく(ありがたく)使います」「잘 읽겠습니다. しっかり(楽しんで)読みます」などです。

同じ「よく」でも「たびたび」「何回も」「たくさん」の意味で言う場合には「많이」や「자주」を使います。これらには「うまく」と言う意味はありませんので下のような場合には「잘」は使えません。

「韓国にはよく(たびたび)行きます→한국에 자주 갑니다.」「ご飯をよく(たくさん)食べます→밥을 많이 먹어요.」「よく似ている→많이 닮았다.」

ちなみに文頭のよくはどれかわかりますか? そう、「많이」ですね。



많이 닮았다

発行日 2005年8月1日

発行/編集 ケイビーエス株式会社
〒544-0033
大阪市生野区勝山北2-16-17
電話 06-6716-5665
FAX 06-6711-2804
E-mail info@kbsjapan.com
URL http://www.kbsjapan.com/

制作メモ 使用アプリケーション
Adobe InDesign CS
Illustrator 8, Illustrator 10
Photoshop CS, Acrobat 6

編 集 後 記

●暑い日々が続きますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか? 今回のナルゲは「夏号」ということを意識して、涼しげな誌面を心がけました。見た目は涼しげですが内容は熱く、厚く、暑…。という訳で、今回もKBSに縁ある方々、社員一同の力作ばかりです。頼もしい仲間を新たに二人迎え、更にパワーアップした(?)KBS。暑かろうが寒かろうが、元気いっぱいの日々を送っています。(カデチャ)

夏期休暇のお知らせ 8月13日(土)~16日(火)

●KBSマダンの「冬のソナタで学ぶ韓国語」講座に参加しました。昨年来の韓流ブーム、ヨソ様人気にちょっと引き気味でしたが、素晴らしいシナリオを教材にした学習で、実際の会話に接する面白さを大変実感しました。周りには熱狂的な韓国映画ファンも多く、その刺激を受けて韓国映画・ドラマにどっぷりはまっているところです。次に韓国へ行くときには何とかその成果を発揮したいと考えています。(sute)

MOTOYA EXHIBITION 2005

KBSが出展

■2005年2月18日～19日

■じばしん南大阪

制作部 李 秀 泰

2月18～19日の両日、じばしん南大阪(大阪府堺市)で行われたモトヤ主催の印刷展示会【MOTOYA EXHIBITION 2005】に出展しました。

KBSとして、展示会出展は昨年7月の「JGAS2004印刷ビジネス交流展」(東京・ビッグサイト)に続くもの。ここ約2年の間でも4回目ということで、参加したスタッフも最初のころに比べてずいぶん慣れてきた感じでした。

開催地の大阪府堺市といえば、自転車、刃物などの産業が地場産業として特に有名ですが、会場にはそのような地場産業の常時展示館が併設されていました。

今回の2日間の展示会ですが、予想以上の入場者で、商談コーナーは来客者でいっぱいでした。私たちが「tagengo.jp」の赤いスタッフジャンパーを着て、KBSの多言語ワークフローを大いにアピールしました。

また、出展側も大阪近辺にとどまらず、四国、九州や東北からも来ておられ、同じ印刷産業のものとして交流を持つことができたことも有意義でした。



おなじみの赤いジャンパーで多言語KBSをアピール(2月18日、堺市)

8/22 シンプルに、わかりやすく KBSホームページ 全面リニューアル



<http://www.kbsjapan.com/>

前回のリニューアルから1年半ほど経ちましたが、この度、よりシンプルに、わかりやすくというコンセプトで全面リニューアルを行います。まだ未完成の部分もありますが、これからもどんどんコンテンツを追加していく予定です。

また、今回のトップページには、クリックするといろいろな言語の文字が面白い動きをする「多言語のKBS」らしいフラッシュをあしらいました。皆さん、どんどんクリックしてみてください。

TAGENGO SPACE KBSまだん 韓国語

韓国語 ドラマ・映画で楽しく!!



入門コースも活況を呈しています(6月7日)

「KBSまだん」で行われてきた韓国語講座も今年4月で早や2年を迎えました。2月からは「冬のソナタで学ぶ韓国語」(全10回)を特別講座として企画、経験豊富なネイティブ講師として張玉蘭先生を招きました。毎回冬ソナのDVDを観て、ヨン様、チェ・ジウのセリフと向き合うのは、まだまだ難しい内容でしたが、生きた韓国語の表現が学べると好評でした。さらに張先生が韓国語で話しかけ、できるだけ韓国語でこたえさせる授業はとても新鮮で、ヒヤリングの勉強にもなりました。参加者の皆さんも、互いの迷(?)会話に爆笑の連続でしたが、積極的に自分の口から話してみるきっかけをつかむことになったと思います。

またこの間、入門コースも新規開講しました。6月7日から、7月25日からの二度、昨年に続いて大阪商工会議所東成・生野支部の主催で新規開講し、6月7日からのコースは、まったく初めての入門者ばかり8人のスタートなり、大変な活況を呈しました。韓流ブームの中、皆さん何らかのきっかけで韓国語学習への第一歩を踏み出され、現在もハングルと格闘されています。

盛り上がる映画会

以前からも好評だった韓国映画会も、この間、頻繁に行っています。3月にソン・ガンホ主演の「爆裂野球団!」(原題:YMCA野球団)、4月は故人となった女優イ・ウンジュを偲んで「オー!マイDJ」、5月は「ロスト・メモリーズ」(チャン・ドンゴン主演)。これは、韓国初の近未来SFアク

ション娯楽映画。7月には「菊花の香り～世界でいちばん愛された人～」を上映しました。

映画会のあとは懇親会。毎回、チヂミやキンパブ(韓国のり巻き)をアテにビールで盛り上がっています。



DVDを教材にした「冬のソナタで学ぶ韓国語」(5月13日)

韓国語講座

9月に入門コース開講予定! 受講生募集中!

☆月曜日コース 初級 I
☆木曜日コース 初級 II
PM7:00～9:00

▼詳しくはハングルネットにアクセスしてください。

hangel-net.com

*受講ご希望の方は、お気軽にお問い合わせ下さい。 ☎06-6716-5665